

2020年度第2回久寺家地区地域会議議事録

1日時：令和2年12月6日（日）13：30～15：30

2.場所：久寺家近隣センター多目的ホール

3.出席者：10団体20名

久寺家地区まちづくり協議会（5名）、久寺家自治会、久寺家三菱自治会、久寺家二丁目自治会、久寺家マンション自治会、日新自治会、久寺家三菱子ども会、久寺家二丁目子ども会、北地区社会福祉協議会、久寺家地区民生・児童委員（2名）、我孫子市市民活動支援課（2名）、地域会議事務局（3名）

（欠席：土谷津自治会、久寺家子ども会、久寺家地区・民生児童委員（1名）、我孫子市消防団第9分団、社会福祉法人栄興会つくし野荘）

4.議事内容：

(1) 座長、市民活動支援課より挨拶

(2) 地域会議参加団体による活動報告

各団体より活動状況等の報告があった。主な報告の要旨を記載する。

(久寺家地区まちづくり協議会)

・コロナ感染予防で行事の中止が続き、新春の集いは近々決定（12月7日企画部会で中止が決定された）。近隣センター20周年を迎え祝賀行事企画しているが実施・内容検討中。子供書初め大会も子ども会の意見で中止、3月に落語会を企画している。

・市内各まち協の連絡会参加、いずこもリーダー後継難とのこと。統合してはとの意見もあったが、久寺家はこの地域をベースに進めていくべきと思う。

・近隣センターはホールの網戸設置、物置増設、管理人増員募集を予定する。

(久寺家自治会)

・恒例行事「おびしゃ」感染予防で縮小したやり方協議している。市に街灯増設要請、来年度予算で実施予定。

(久寺家三菱自治会)

・カラス被害対策、未回収ごみ対策、あけぼの公園集積所への資源ごみ過集中を解消するために、集積所ごとの利用世帯数の平準化や生ごみ可燃ごみ資源ごみ集積所一体化を目差す集積所の再配置やごみ出し・ごみ当番ルール制定を1月実施で提案し取り組んできた。しかしながら、一部の班から反対意見も出ているため、4月1日に実施順延し12月以降説明会等で目的周知を図り且つ必要な修正も行い今年度自治会で決着できるよう取り組んでいる。

(久寺家2丁目自治会)

・高齢化率60%超と市内2位の状況で、自治会として高齢者や一人暮らし世帯

対応、役員分担など解決が難しい。一部に個人情報保護への厳しい意識もあり、地域としての活動に踏み込めない。

- ・いばら公園にコロナ対策の観点から手洗い施設の新設を希望。

*この件を市民活動支援課から公園緑地課へ伝えてもらうこととした。また、歩道側溝のアルミ蓋も損壊などチェックし補修してもらうこととした。

(久寺家マンション自治会)

- ・駐車場を中心に防犯カメラ8台設置、近隣へのプライバシーには配慮している。給水ポンプ、配水管のメンテナンス工事あり、工事期間中近隣道路での理解をお願いする。

(日新自治会)

- ・1月総会で役員交代、コロナ対応で集会での感染回避のために書類を事前配布するなど例年とは異なるかたちで総会を進める。

(子ども会)

- ・久寺家三菱子ども会：まち協イベントがコロナ禍のため中止になったので活動なし。来年度まち協活動対応の委員を決める。

- ・久寺家2丁目子ども会：独自イベント中止、まち協イベント中止残念。1月に来年度役員選出。

*座長より、久寺家地区内で行った野の子ども会が芋ほりを実施した。当地区でも住民農家に協力してもらって植え付けから芋ほりまで企画してはどうかとの意見あり。

(民生・児童委員)

- ・市の高齢世帯調査実施中、高齢世帯多く公的支援受けていない方の見守りの地域での対応懸念、調査結果まとまったら検討。

- ・きらめきサロンで高齢者なんでも相談室出前講座「明日のために安心して暮らせる方法」実施。高齢者は2週間の寝こみで7年分の筋力が低下すること。

*座長より、例月風サロン300名、生き生きクラブ60名、きらめきサロン30～40名くらいの参加者がある。地域での対応には限界があり、自らの老後へ各人の努力を市でもっと呼びかけてほしい。また、まち協役員会で後継者難など継続性に関し協議、運営には各団体の協力をお願いしたいとの発言あり。

(北地区社会福祉協議会)

- ・コロナ予防でこれまでの活動が中止せざるを得なくなり代替の方法を企画した。健康体操DVD作成配布、「ぱっちゃんかえる」の保育園への提供、北地区見守りLINEネットワークの開設で広く地域の情報提供など。(配布資料参照)

(3) 防災共助研究会による6自治会合同防災活動について

①各自治会から報告

(久寺家) : 参加者から、発電機、AED体験で楽しかったとの意見があった一方、安否確認カーの戸別確認の手間が大変との意見があった。

(久寺家マンション) : 高齢者が多い、賃貸の部屋が多いなど参加者の増加に課題。近かったので高校会場での待ち時間が長かった。

(久寺家2丁目) : 班長による各戸への内容説明で予想より多くの参加者を得た。各実演でやり方などもう少し知りたかった。安否確認、避難誘導などはより高い問題意識を持ってやるのが共助の推進に重要と感じた。

*防災共助研究会事務局より、今回は消防署の要請もあり、コロナ感染予防の観点から参加者の訓練体験を制限したが、今後は多くの住民が参加する形で実施するように企画したいとの発言あり。

(日新) : 今回のような訓練を行ったのは良かったし、仮設トイレ、担架、段ボールベットなど展示は参考になった。安否確認カードの提示場所が徹底されておらずチェックに手間取り、事前の説明不足を反省。高齢者には校庭までの避難訓練は遠かった。

(久寺家三菱) : 2人の班長のコメントを代表例として紹介した。(配布資料参照)

②防災共助研究会事務局による合同防災訓練実施報告

・配布資料に基づき、参加状況、進行状況、費用概算、反省点、今後の課題などの報告が行われた。

・第4回地域会議(2月7日)までに、6自治会長を含む防災共助研究会において、2021年度以降の6自治会合同防災訓練の計画、準備、実行を担う継続的な実施体制をどうするか検討し、地域会議に提案することについて6自治会長(土谷津町会長欠席)の了承を得た。

(4) 地域活動費の経過報告

事務局より現在までの夏休みラジオ体操会費用と防災訓練講師謝礼の支出報告があった。また、座長より3月に落語会を企画するとの報告があった。

以上